

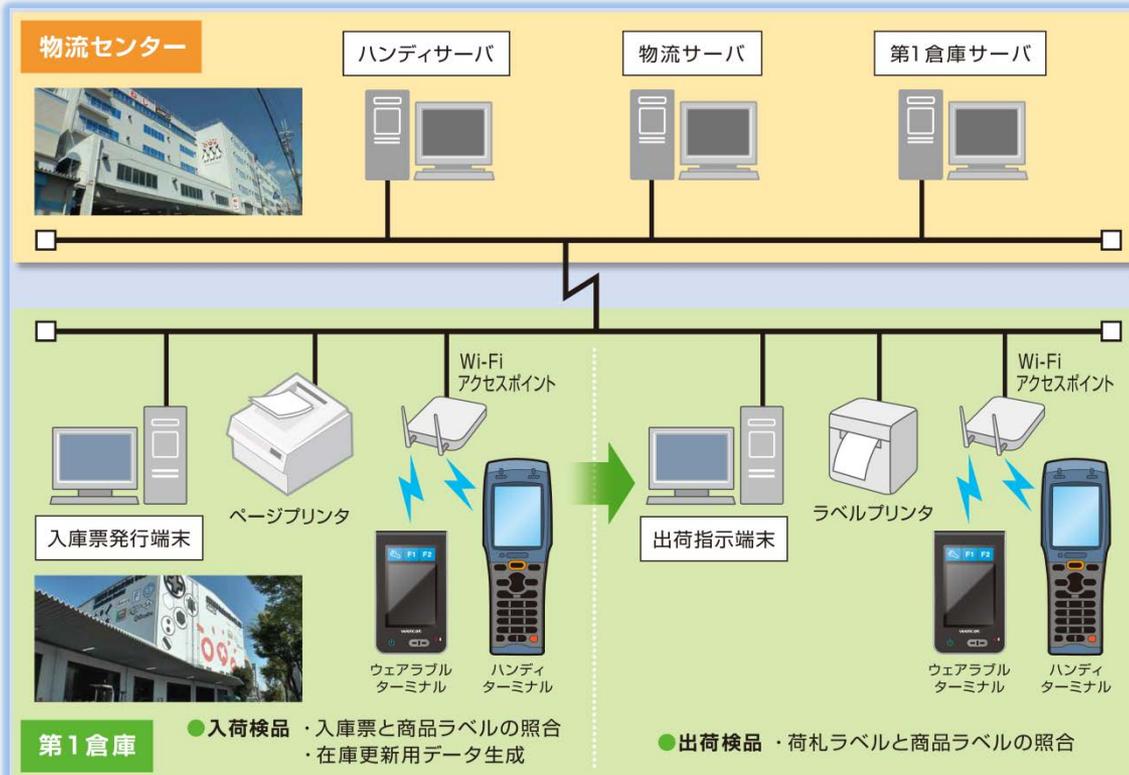
事例名：ウェアブルターミナルを使った検品作業の効率化

ユーザ名：サンコーインダストリー株式会社様

システム概要

入出荷検品作業にハンディターミナルとウェアブルターミナルを導入、両機器を同一環境で使用できるシステムに改良し、ハンズフリーオペレーションを実現。

システム構成



構成機器

ワイヤレスハンディターミナル
XIT-200-G



二次元ウェアブルターミナル
WIT-220-N/NR



情報媒体

一次元バーコード (JANコード)

システムの特長

様々なシーンで最適な『ターミナル』を使用することでスピーディな読み取りを可能とし、作業効率の向上を実現した。

・ウェアラブルターミナル

ピッキング作業において、1品1品を読み取りながら荷物を動かす細かい作業

・ハンディターミナル

入庫管理や棚卸作業など、一度に複数のバーコードを読ませる作業

ウェアラブルターミナルの導入により、両手が使えるようになりより素早く、正確にピッキングすることが可能。

ウェアラブルターミナル



ハンディターミナル



導入の背景

一日3000パッキンにも及ぶ入出庫検品を、少人数でリアルタイムに対応するために、「読み取るための動作」や「検品ミス」など、作業工程のロスを削減し作業スピードを向上させる必要があった。

課題

ターミナルを使いながら、ネジ類が詰まった重い箱を持ち運びする作業の際の、商品や機器の落下などによる破損。

課題の解決

小さくて軽く、手の甲に装着できるウェアラブルターミナルを導入することで、両手を使っての重量物の持ち運びが可能となり、作業の際うっかり商品や機器を落として破損させてしまう心配もなくなり、安全性が向上した。

ハンディターミナルで行われていた「読み取るための動作」をなくすことで、ピッキング作業のスピード化を図るとともに、検品エラー時に作業者が分かり易いように「音声」と「画面の色(赤)」で表示を行うようにしてミスを防止し、作業効率を上げた。



解決の効果

ウェアブルターミナルを導入して、
両手を自在に使えることで、ネジ類が詰まった重い箱を持ち運びする際の
落下の心配も無くなり、安全性の向上にも繋がっている。
ターミナルを『手に持つ煩わしさ』や『読み取るための動作』がなくなり、作業スピードも向上。
検品時には、バーコードスキャンしてからすぐに結果が表示されるので、
その場ですぐに確認ができ、NG表示の場合は「音声」と「画面の色(赤)」で確実に知らせることで
ミスも少なくなり、作業効率も格段にアップした。



今後の展開

今回の事例でご紹介したサンコーインダストリー株式会社様では、その他の物流センターでも、作業内容に合ったターミナルを
横展開していく予定である。ウェアブルターミナルを導入し「両手が自由に使える」ことで、ネジや重い部品を取り扱う
製造業などの検品作業でも、安全性と作業効率をあげる有益なツールとして展開中である。

導入実績

サンコーインダストリー株式会社では、現在20台のウェアブルターミナルが稼働中。

参考URL

https://welcat.sakura.ne.jp/case/data/sunco_jirei.pdf

お問い合わせ先

株式会社ウェルキャット 営業推進部営業推進課

〒141-0032 東京都品川区大崎5-6-2 都五反田ビル西館5F

TEL : 03-5740-5280 FAX : 03-5740-5286

URL : <https://welcat.sakura.ne.jp/contact/>